



令和8年3月3日 (R7-011)

県政記者クラブ 各位

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

## EMC試験システムの更新により新たな規格へ対応

地方独立行政法人岩手県工業技術センター（理事長 熊谷泰樹／盛岡市）では、電子機器製造を行う企業の皆様に対するEMC試験関連の支援を強化するため、ものづくりイノベーションセンター EMC評価ラボの設備機器について、更新及び導入を行いました。

これにより、最新の試験規格や、これまで対応していなかった新たな試験規格への対応が可能となりました。なお、これらの設備機器の更新・導入は、公益財産法人JKAの補助事業を活用したものです。

### 【概要】

#### ◆ 場所

ものづくりイノベーションセンター EMC評価ラボ（岩手県工業技術センター内）

#### ◆ 更新・導入したEMC試験システム

- 静電気放電試験器（更新）
- ファスト・トランジェント／バースト試験器（更新）
- 車載機器EMI・医療機器磁界EMS試験システム（対応規格拡充）

#### ◆ 補助事業

公益財団法人JKA 2025年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業

- EMC 評価ラボは、国際規格等に準じた各種エミッション測定を行う大型(10m 法)電波暗室、各種イミュニティ試験や車載機器試験等を行う多目的電波暗室、各種試験に対応するシールド室を備えています。
- 電子機器関連企業等の製品開発や品質評価を総合的に支援する東北地方有数の大規模 EMC 試験施設です。事前予約の上、有料でご利用いただけます。

#### ◆ 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

「創るよろこび・地域貢献」を基本理念として、県内企業への幅広い技術支援を実施。

7部門の研究部（電子情報システム部、機能材料技術部、素形材プロセス技術部、DX推進特命部、産業デザイン部、醸造技術部、食品技術部）を設置し、技術相談への対応、依頼試験や機器貸出、企業との共同研究などを行っています。

1873（明治6）年創立。2023年に創立150周年を迎えました。



## EMC試験システム



EMC評価ラボで対応する各種EMC試験に用いる設備機器について、最新規格への対応と対応規格の拡充を図るため、更新・導入を行いました。



### 静電気放電試験器 (更新)

2025年3月に発行された静電気印加試験の最新規格 IEC61000-4-2 Ed.3 に対応しました。

#### <対応規格>

IEC61000-4-2 Ed.3(2025)  
ISO10605 Ed.3(2023)  
最大電圧：30kV



### ファスト・トランジェント / バースト試験器 (更新)

PCからの試験制御や三相電源への印加試験に対応しました。

#### <対応規格>

IEC61000-4-4 Ed.3(2012)  
最大電圧：4.8kV



### 車載機器EMI・医療機器磁界EMS試験システム (対応規格拡充)

多目的電波暗室の試験システムを拡充し、車載電装品のEMI試験及び医療機器の磁界イミュニティ試験に対応しました。

#### <対応規格>

- 車載電装品 放射 / 伝導EMI測定  
CISPR25 Ed.5.0(2021)  
ALSE法(放射)、電圧法/電流法(伝導)
- 医療機器 磁界イミュニティ試験  
ISO60601-1-2 Ed.4.1(2020)  
IEC61000-4-39 Ed.1.0(2017)

EMC試験設備の詳細情報は  
[岩手県工業技術センターEMC評価ラボHP](#) から

岩手 EMC 検索

スマートフォンや  
タブレットからはこちら  
EMC評価ラボHP

